

授業科目 放射性同位元素検査技術学実習

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	臨床
泉川 卓司、川村 宏樹、池上 喜久夫		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎					○
【概要・一般目標：GIO】 放射性同位元素検査技術学で学んだ知識をもとに、RI 検査の基礎知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. RI 検査の有効な利用法を説明する。					
2. RI 検査の測定法を説明する。					
3. 放射線管理の基礎について説明する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-3	RI の取扱の基礎、人体に対する影響			3	講義・実習
4-7	ミルキングと半減期の測定			3	講義・実習
8-10	天然放射線の測定			2	講義・実習
11-13	各種遮蔽材による吸収			2	講義・実習
14-16	同位体希釈分析法			1,2	講義・実習
17-19	核医学検査			1,2	講義・実習
20-23	インビトロ RI 検査			1,2	講義・実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 放射性同位元素検査技 術学	藤井 張生、牧石 典 之、村田 雄二 他	医歯薬出版	2002・2,100円・2002年2月
参考書					
その他の資料		配布資料			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
レポート(40%)、定期試験(60%)		放射性同位元素検査技術で学んだことをしっかりと確認して実習に臨むこと。 実習の心得、態度、礼儀、服装に乱れがなく、積極的に実習に取り組むこと。 全ての実習項目に出席し、レポートを提出することが単位修得の条件である。			